2016 年 7 月 22 日
国立大学法人東京大学
大学院情報学環

東京大学情報学環セキュア情報化社会研究寄附講座

八重洲オフィス開設とセキュリティに関する最新研究成果の紹介

1. オフィス開設の概要

昨年、セキュリティをはじめとするサイバー空間に関する課題について学際的研究・人材育成・政策提言を推進することを目的に本寄附講座を発足いたしましたが、この度、東京八重洲にオフィスを開設することになりました。

当オフィスでは学生や企業のセキュリティ担当者を対象にしたトレーニングの実践的演習環境（SiSOC サイバーレンジ）を構築し、高度セキュリティ人材の育成を図ります。また、併せて、SiSOC サイバーレンジでは、IoT、Fintech などの最新技術に対するセキュリティ検証の実施を予定しています。

2. 最新研究成果の紹介

AI ネットワークとセキュリティリスク
グループ長　教授　須藤　修

サイバー空間の展望
副グループ長　特任教授　安田　浩

指紋による個人認証の課題と、次世代型個人認証技術の開発ー3次元形状計測技術の展開ー
特任教授　梅崎　太造

ハードウェアから見たコンピュータ／ソフトウェアのセキュリティ対策の研究
特任教授　上野　洋一郎

セキュリティ・インシデントと企業価値に関する研究
客員研究員　中野　邦彦

サイバーセキュリティ政策の国際比較研究
特任助教　趙　章恩

組織におけるサイバーセキュリティ対応体制の調査研究
特任准教授　満永　拓邦

3.　寄附講座の概要

本寄附講座は、セキュリティをはじめとするサイバー空間に関する課題について巨視的長期的視座から学際的研究・人材育成・政策提言を推進するものです。特に産官学の協力の下に広く人材を糾合し、実際に生じている社会的かつ国際的な課題に対し、自然科学的なアプローチのみならず社会科学的なアプローチも取り入れて調査研究を行い、その検討結果を広く情報発信することを主眼としたものです。当該分野における学際的研究部門としては日本初の試みとなります。

ⅰ.設置期間:平成27年4月1日～平成32年3月31日(5年間)
ⅱ.設置場所:　東京大学大学院情報学環
ⅲ.研究寄附講座の名称:　セキュア情報化社会研究寄附講座
（英文名:　Secure Information SOCiety research group）
ⅳ.寄附者:三吉野　健滋
ⅴ.代表教員:須藤　修(東京大学大学院　情報学環　教授)
ⅷ.寄附講座ウエブサイト　:　http://sisoc-tokyo.iii.u-tokyo.ac.jp/

4.　講座メンバー

グループ長	須藤　修	教授	東京大学大学院　情報学環　教授 東京大学　大学総合教育研究センター長
副グループ長	安田　浩	特任教授	東京大学　名誉教授 東京電機大学　学長
メンバー	上野　洋一郎	特任教授	東京電機大学　情報環境学部　教授
	梅崎　太造	特任教授	名古屋工業大学大学院　教授
	関口　和一	客員教授	日本経済新聞社　編集委員
	田中　秀幸	教授	東京大学大学院　情報学環　教授
	谷脇　康彦	客員教授	総務省　情報通信国際戦略局長
	松田　学	客員教授	前衆議院議員 株式会社大樹総研　執行役員
	宗岡　徹	客員教授	関西大学大学院　会計研究科　教授
	青木　輝勝	客員准教授	東北大学　未来科学技術共同研究センター　准教授
	満永　拓邦	特任准教授	東京大学大学院　情報学環
	趙　章恩	特任助教	東京大学大学院　情報学環
	川前　徳章	客員研究員	エヌ・ティ・ティ・コムウェア株式会社
	権田　典之	客員研究員	株式会社ディー・ディー・エス
	白石　雅	客員研究員	三井物産セキュアディレクション株式会社
	中野　邦彦	客員研究員	島根大学　地域未来戦略センター　助教
	本田　正美	客員研究員	島根大学　戦略的研究推進センター　特任助教

	横田 勝彦	客員研究員	東京電機大学 未来科学部
	小林 裕士	学術支援職員	東京大学大学院 情報学環
	矢島 義也	最高顧問	株式会社大樹総研 代表取締役会長兼CEO
	三吉野 健滋	寄附者	株式会社ディー・ディー・エス 代表取締役社長

5. 活動内容

ⅰ.研究方針

喫緊の課題であるサイバーセキュリティ問題を解決するためだけでなく、情報通信分野に横たわる広範なサイバー空間に関する研究課題を発掘・検討・再定義します。また産官学の協力によって、サイバーセキュリティ関連技術とマイナンバー制度の検討など制度的環境にまたがる境界領域を対象に、情報通信工学による自然科学的アプローチのみならず、経済学・法律学・行政学・社会学などの社会科学的アプローチをとりいれた学際的な研究分野を研究領域とします。

ⅱ.人材育成

東京電機大学などの大学・研究機関や民間企業も含めた産官学との連携の下に高度セキュリティ専門家(Cys・HS:High level specialist on cyber security)の養成を行います。とくにハッキング攻撃用のサイバーセキュリティプラットフォーム(演習用サイバーレンジ)を構築し、学歴年齢を問わないサイバーセキュリティの専門家を招へいし、実地訓練による人材育成とともにハッキング防御技術やセキュリティ耐性の評価を行います。

ⅲ.情報発信と政策提言

本年1月のサイバーセキュリティ戦略基本法も施行され、国際間のサイバー攻撃対策や企業の情報漏えい対策の重要性が高まっています。本研究グループは研究の拠点となるだけでなく日米欧亜のセキュリティ・インシデントの調査分析に基づき定期的な情報発信を行い、併せて国に対して政策提言を行っていきます。

6. 今後のスケジュール

8月以降/
- 社会人向けサイバーセキュリティトレーニングの開催
- 定期的な研究会の開催
- 東京大学学部生向けにサイバーセキュリティトレーニングの開催
- 東京大学学部生、大学院生向けにデロイト トーマツ社共催(オランダ大使館等後援)によるサイバーセキュリティトレーニングの開催
- 「セキュア情報化社会研究シンポジウム」の開催
- サイバーセキュリティ白書の発行

【本件に関するお問い合わせ先】
東京大学大学院情報学環セキュア情報化社会研究寄付講座 事務局 板垣、長谷川
Tel: 03-5841-1902
E-mail: sisoc-sec@iii.u-tokyo.ac.jp